

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)

電話 66-1311
FAX 66-1314



作備分教会

昭和17年3月26日 設立
昭和48年5月26日 所属変更
(本部 → 海松ヶ岡)
昭和50年10月26日 移転
昭和50年12月7日 奉告祭

教祖百四十年祭 笠岡大教会活動方針

つながろう、おやさまのお心に。
つなげよう、信仰の喜びを。

活動
目標

ひながたを学び、そのお心を実践しよう。

実践
項目

毎日、喜び・感謝を声に出そう



教祖140年祭

立教188年
12月号

海外伝道講習会 開催

11月次祭

海外部

海外部(上原志郎部長)は11月21日、黄登州先生を講師に迎え、大教会11月月次祭後に「海外伝道講習会」を開催。役員・部内教会長・よふぼく・信者ら多数が受講した。講話内容は次の通り。

この度、お話の依頼を賜った際に、まず頭に浮かんだのは、貴大教会の3代会長上原繁雄先生が台湾伝道庁の第5代と第7代の伝道庁長を務めてくださったことであります。台湾伝道庁、また我々台湾の教友たちに変え貢献された先生ですので、報恩感謝の気持ちでお話を受けさせていただかなければならないと思います。

昭和14年に上原先生が第5代庁長に就任されました。その頃は、ちょうど戦時中で連合国の潜水艦がうようよしている東シナ海を命がけで何度も台湾から船で、おちばが



流暢な日本語で
熱く話される黄先生

えりをされたという記事を読ませていただきました。終戦後、昭和25年に再び第7代庁長に就任されました。その後、台湾伝道を側面から支援するために発足された天理教梅華会が台湾を親善訪問した際にも、上原先生は団長を務めておられました。台湾のお道に大いに貢献をされた先生で大変感謝しております。

「我は元の神・実の神である。この屋敷にいんねんあり。このたび、世界一れつをたすけるために天降った。みきを神のやしろに貰い受けたい」これは親神・天理王命が教祖中山みきの口を通して仰せになった最初のお言葉であります。この最初の親神様のご宣言によって、天理教の世界たすけが始まり、

世界宗教として立教以来、今日まで歩み続けています。先月25日の第99回天理教青年会総会には、海外からも大勢の青年会員が帰参し、また、翌日の秋季大祭にも世界の各国から大勢の帰参者が立教の元一日に思いを寄せて参拝をされました。教祖140年祭を目の前にして勇んだ姿を拝見させていただき、大変嬉しく思いました。親神様を信じ、教祖を慕って世界各地からおちばがえりをさせていただいている、誠にありがたいことで、まさしく世界たすけ、世界宗教であるという証拠でありましょう。

天理教が他の宗教と比べて違う点について、1つは、おちばがえりがあるということ。天理教のちばは、全人類の親里として天理教の信仰者とはもとより、国籍、人種、民族、宗教、言語などの違いを超えてすべての人々に開かれた全人類の聖地です。全ての人が平等に参拝できる天理教は世界宗教であり、全世界の教友がおちばを慕って、おちばがえりをさせていただいています。

もう1つは、ひのきしんの教えです。ひのきしんは親神様への感謝の喜びが

行動に現れることです。災害現場で天理教災害救援ひのきしん隊による活動によって、被災者が勇気と元気を取り戻していることは、皆様方もご承知のことと思います。台湾にも海外唯一の天理教災害救援ひのきしん隊が結成されており、東日本大震災の時にも出勤しました。ひのきしんという素晴らしい天理教の教えをもっとたくさんの人に理解していただけるよう、ひのきしんという言葉が世界全体の共通語になるように、日頃からひのきしん活動を通して、天理教の匂いを周りの人々にかけていかなければならないと思います。

もう1つは、陽気ぐらしの教えです。親神様は共に楽しみたいと思われるとともに、心一つは我が理と強調しておられます。陽気ぐらしができるかどうかは、心の持ち主である自分の考え一つで出来ると思います。いかに自分の心を使い、いかに生活の中で喜びを取り入れ、楽しい生活を送るかを目標としている天理教を、台湾をはじめ世界へもっと広めていきたいと思っています。

私の所属教会は、西高雄教会と言います。海外教会の場合は「分」という字

は付きません。「分」がつくと、それぞ
れの国において人々に説明するのに紛
らわしく理解してもらえないので、ご
本部の親心で「分」を取るようになった
そうです。また、西高雄教会の月次祭
の祭典日は、毎月第1日曜日です。世
界的に週休2日制が主流である昨今、
多くの海外教会は土曜日または日曜日
を祭典日としておられるようです。ま
た、おつとめを勤めるのに、アメリカ
やブラジルなどでは日系人の信者が多
いため、おつとめ衣でおつとめを勤め
ますが、韓国や台湾では教服を着てお
つとめを勤めています。もちろん、こ
れはご本部よりお許しを頂戴したから
こそ勤めることができます。祭儀式に
関しては、国によっては椅子を使つて、
あるいは立ったままで祭儀式を務めたり、
祭文の奏上をしている教会もあります。
参拝所では椅子席がほとんどのよう
です。世界に教えを伝えるために、
異なる文化に生きる人たちとより良い
関係を築くためには、相手国の言語や
文化、伝統、生活習慣を学び、敬意を
持つて相手の生き方、考え方に對する
理解を深めながら接していかなければ
ならないと思わせていただきます。

私は信仰の2代目であります。約60
数年前、祖父が日本にいた時、胃がん
のご守護をいただきました。台湾に帰
省した時に、祖父は教祖からいただいた
不思議なご守護と天理教に入信した
ことを私の両親に話し、夫婦で信仰す
るようすすめたところ、両親は素直
に信仰するようになりました。私はま
だ幼かったですが、分らないなりに
も両親に従つて信仰し始めました。私
は24歳の時、おちばがえりをしました。
おちばで信仰を求める一方、日本の文
化、慣習による押し付けなどに対して
の不慣れから、だんだんと不足の心が
生じ、やけ酒を飲むようになり、急性
肝炎という身上のお手引きをいただき
ました。入院中、大教会の先生方にお
さづけを取り次いでいただき、病状は
快方に向かいました。そして、先生方
のお諭しにより、道一条で通らせてい
ただくように心定めをさせていただきました。
おちばで日本語と天理教を勉強する
機会をお与えいただき、また神様から
身上のお手引きをいただき、真剣に天
理教を信仰しようというお導きをいた
だけたことに大変感謝しております。

私の最初の年祭は、昭和61年の教祖
100年祭でした。三年千日の1年目に
来日し、当時の天理大学別科で日本語
習っていました。先ほど触れました
が、身上のお手引きをいただき、一生
お道を通ることに心を定めさせてい
いただきました。今から振り返れば、
それは私が初めて教祖の年祭活動を迎
え、成人の歩みではないかと悟らせて
いただくことができました。教祖120年
祭の翌年、立教170年に西高雄教会2
代目の会長を拝命いたしました。教祖
130年祭の三年千日の3年目の8月に
仕事を辞職し、教祖130年祭が目の前
に迫ってきたため、勇んで年祭を迎え
なければならないという思いで、翌月
の9月から年祭の1月まで、毎月大教
会とご本部への参拝を心定めさせてい
いただきました。年祭当日、10名の西
高雄の教友と一緒に厳しい寒さの中
で参拝させていただいたことは、今
でも鮮明に記憶に残っております。今
日までコロナの2年間を除き、11年間
毎月のおちばがえりを続けていただ
いております。毎月のおちばがえりを
続けるのは、並大抵なことではあり
ません。しかし、大教会や本部の祭典
に参拝させていただき、その勇んだ
雰囲気の中でしっか

りと信仰の充填をすることができ、
また頑張ろうという気持ちで帰国
することができました。

おちばがえりを続ける中にも、親
神様から身上や事情の節を見せてい
いただきました。私は教祖130年祭
の2年後、立教181年の年末に左目
に悪性リンパ腫を患いました。幸い
に初期発見で治療を経て、血液検
査で炎症の数値が高いまま様子を
見ながら今日まで診察を続けていま
す。今でも左目はぼんやりとしか
見えません。しかし、見えにくい
中、喜ばない喜びに、親神様から
のメッセージだと思つて喜びを見
いだして、勇んで日々を通らせて
いただく努力を続けていきたいと思
います。

事情に関しては、立教185年教祖
140年祭三年千日の前の年に、自
教会の修養科生が修養科中に出直
したことです。その時、私は教養係
として彼女の世話をしていた最中
だったので、すごくショックでした。
たしかる場所である修養科でなぜ
出直しようか。いくら考えてもその
時はわからず、つらく落ち込み、
寝られない日々が続きました。西

高雄教会にて合祀を務める際に、彼女のご両親と妹さんが初めて参拝に来てくださいました。それから彼女の妹さんが頻繁に教会に足を運ぶようになり、一昨年の8月に用木になりました。そして今年4月、さらに信仰深く深く求めて、出直したお姉さんの意志を継ぎ、修養科に自ら志願して無事に修了しました。今思えば、お姉さんの出直しは非常に悲しくつらい節でしたが、その後、妹さんが道を繋いでくれました。悲しい節も生き節として喜びに変えることができるようになりました。

教祖140年祭の三年千日の実働として、私は、2つの心定めをさせていただきました。1つ目は、毎日夕方、教会の前で夫婦で路傍講演をすることです。お話を聞いて、私たちに天理教のリーフレットを求めたり、また赤信号で止まっていたバスの運転手が私たちにいいねとジェスチャーをしてくれた時もありました。2つ目は、朝づとめ後、夫婦で天理教という文字が入った紫色のチョッキを着て、教会近辺の道路沿いでごみ拾いをさせていただいています。そして、我々夫婦にありがた

う、ご苦労様と言ってくくださる人もいたりして、近所付き合いも良くなってきたような気がします。

教祖140年祭三年千日の活動に、私は「おちばへ、おちばへ」、おちばがえりを目標として実動させていただいております。11年間、毎月のおちばがえりによる私の成人の歩みは、親神様から溢れんばかりのご守護を頂戴していると再認識できたことです。心より親神様、教祖に感謝しております。

(要約：部員 鳥井 悠 加)

こかん様に続く会

開催

女子青年

11月23日(日)にこかん様に続く会を開催しました。

支部長様のお話では、天理教の始まりや今の教祖がどんな生活を送られているのか分かりやすくお話くださいました。

お話の中で、物事を好きになるには楽しんですることが大切というお話がありました。普段生活する中で前向きな気持ちになれないことが多くありますが、考え方を少し変えて、どんなこ

とでも楽しみ喜べる心の使い方ができるようにしていきたいと思いました。お話の振り返りのあとはお楽しみゲームとして、リズムゲームとつぽ



おしとやかに話の振り返り



お楽しみゲームでは大盛り上がり

取りをしました。初対面の会員さんもいて、最初は緊張した雰囲気でしたが、いざゲームが始まると一気に距離が縮まり、会場は



初対面の会員ともうち解けて、さらに楽しいご飯タイム





大いに盛り上がりました。
 しっぽ取りでは全員が本気で走り回り、笑い声が絶えませんでした。
 思い切り体を動かしたあとの食事は格別で、みんなで囲むご飯はさらに楽しい時間となりました。
 さらに、担当の奥様方がたくさんのおスイーツも作って下さり、心も体もとても満たされました。
 この会を通じて普段の例会にも参加して頂けたら嬉しいです。
 また来年11月1日は本部で女子青年大会が開催されます。
 笠岡女子青年として団参を組むので、皆様ぜひご参加ください！
 (委員長 山野 哉実)



その後、大教会長様よりご挨拶と新委員への辞令交付を頂戴いたしました。最後に委員長(瀬藤大喜)よりご挨拶をさせていただきました。
 青年会長様はビデオメッセージの中

笠岡分会総会 開催
青年会



よろづよ八首総立ちにてつとめる

で、青年会活動の芯となる「布教」と「求道」の両輪を回していくことの大切さ、そのためにも抑える3つのポイント「子ども可愛い親心」、「全てがちょうど良い」、「心通わり、いんねん通り」についてお話いただきました。
 また、大教会長様は、この総会を通して、陽気ぐらしに向け日々の中で自分のできることは何かを考え、一つ定めて実践していったほしいとお話してくださいました。
 委員長からは、来年(立教189年)11月23日の青年会長様御臨席総会開催に向けた想いを伝えさせていただきました。
 青年会員20人、女子青年3人、その



新委員への
辞令交付



大教会長様からのご挨拶を頂戴する



青年会長様(中山大亮様)からの
熱いビデオメッセージ

他5人の総勢28人の方にご参加いただきました。ありがとうございました。
 (委員長 瀬藤 大喜)



第二部スタート！

年会笠岡分会総会の終了後、大教会講堂内外で記念行事「大人キャンプ」を開催させていただきました。
まずはアイスブレイクで交流を深めた後、4チームに別れて最近よくその名を耳にする新スポーツ、モルックを行いました。
結果によって、カレー作りの材料のグレードが変わってくるので皆さん必死です。
その後各チーム協力してカレーづく

総会に引き続き 大人キャンプ 開催

青年会

学生担当委員会(上原繁次委員長)は、11月30日、「秋学(秋の学生会の日)」を実施し、学生・スタッフ合わせて10人が参加した。
今回は、広島県立中央森林公園(広島県三原市)で、プログラムを実施。午前中は、グループワークや教理のお話の時間を持たれた。
午後からは、クリームパン作り体験

秋学 開催

学 担

りととりくみました。
夕づとめ参拝後には、キャンプファイヤーを取り囲んでの交流会、屋外サウナメント等、会員それぞれが親睦を深め合える時間となりました。
今回の総会には20代前半から30代前半までの若い世代の方々に多くのご参加をいただきました、これからの笠岡分会が更に楽しみです。
また、それぞれの徳分が発揮される素敵な総会、記念行事でありました。
ありがとうございました。
(委員長 瀬藤 大喜)



自己紹介ゲーム『セブンス』



食材争奪！モルック大会



好きなクリームをパンに注入



各チーム協力してのカレー作りの様子



アスレチックなどで楽しむ



協力して
ミッション達成を目指す



クリーム注入はコツが必要



パンを作り終えての笑顔

が行われ、八天堂ビレッジの講師のガイドに従いながら、クリームパンとデコレーションパンの製作に取り組んだ。その後は、芝生広場に場を移し、ネイチャーツアーを実施。木の枝や葉などの自然物を使いながら、皆で協力

して1つ1つのミッションを達成していった。
参加した学生は、秋晴れの下、身体を動かして楽しみ、学び、絆を深めた1日となった。

(委員長 上原 繁 次)

神戸駅前での布教



言葉につまりながらも
なんとか個別訪問に回る

12月1日、青年会(瀬藤大喜委員長)は兵庫中央分教会で布教実習を行いました。
会長様(笹倉雅弘先生)には、9月21日笠岡大教会祭典後に行われました「布教推進講習会」でお話しいただきましたご縁で、実習の開催をお願いさせていただきました。
参加者は委員長と委員2人(田中真実・丸山周太)の3人でした。
早朝4時30分に大教会を出発、都会

の大渋滞をなんとか潜り抜け、笹倉先生が毎朝8時からされている神戸駅での駅前布教から帯同させて頂けました。
その後一旦教会に帰り、十二下りのおつとめの後、神戸の街中へ戸別訪問に向かいました。
約2時間弱の戸別訪問を終えて教会へ帰り、ねりあいをさせていただきました。
その後14時頃神戸を出発という流れでした。
今回の実習は、短い時間ながらも濃い内容の戸別訪問とねりあいの時間でした。
私を含め2人の委員も大きな刺激をいただける貴重な体験をさせて頂けました。

兵庫中央分教会にて 布教実習

青年会



ビル型教会の4階神殿にて



練り合いの時間

また、チラシひとつも手作りで、いたるところにこだわっておられました



音楽活動を通しての出会いを語る福岡先生

笠岡大教会年祭準備委員会は、12月7日に大教会で『2025 若人の集い』を開催し、20代〜40代までの男女

2025

若人の集い 開催

年祭準備委員会

何より笹倉先生ご夫妻の、同じ方向を向き、自分自身を見つめながら低く歩かれているお姿はとてもカッコいいと思いました。兵庫中央分教会への布教実習は今後も継続して行っていく予定です。(委員長 瀬藤 大喜)

た。



聴き方コース

43人(うちスタッフ11人)が参加した。今回のテーマは、「スキルを学び人のために」。まず講師による基調講演、その後、選択コースに分かれての講義となった。基調講演では、特技の音楽を活かして、教会や地域で活動を展開している福岡毅先生(越知大・万国分教会長)が壇上に立った。自分の徳分を活かして、にをいがけにつなげている講師の話に、受講者は熱心に聴き入っていた。



アートバルーンコース



リラクゼーションコース

えを伝える方法を学んだ。聴き方コースでは、聴く事により人を支援する方



海外コース



教理コース

法などを学び、海外コースは、海外の天理教の拠点の様子や、韓国語での会



素敵な1日となりました



若人の集い限定セッション

話を学んだ。また、アートバルーンコースでは、作品の作り方を学び、実際に

12月14日、学生担当委員会は、「高校受験勉強会」を開催し、高校受験を控えた4人の中学3年生と、学担スタッフ2人が参加した。

この日は、天理高校1部、2部の入試過去問題や学校課題などの解法を、学担スタッフが解説した。受講生は、入試に備え熱心に取り組み、学習意欲を高めた。

(委員長 上原 繁次)

高校受験勉強会 開催

学 担

受講者は、この日を通して、自分の徳分を活かして人をたすけるきっかけを得た1日となった。

(準備委員 上原 繁次)

様々な物を作った。リラクゼーションコースでは、2人1組になり、首や肩のマッサージの方法を学んだ。

午後からは、ティータイムの時間に、講師の福岡先生と、若人の集いスタッフによる、篠笛、龍笛とピアノのセッションが行われた。和楽器とピアノの奏でる様々なジャンルの曲に、会場は酔いしれた。



入試に向けて頑張るぞー！



それぞれが課題に取り組む

笠岡大教会 年間行事 予定表

部会 月	婦 人 会	青 年 会	少 年 会	学 生 会 学生担当委員会
1	28 婦人会創立の日	11 大教会伏せ込みひのきしん(第1回) (以降、年間基本的に毎月 第1or第2日曜日に開催)		
2	3 初例会 28 ホットテラス	* 2月～4月 巡会 1 話所片付ひのきしん団参	21 てっちゃんシアター 27 幹部会	
3	3 直轄委員部長・委員研修会		21 てっちゃんシアター 31 鼓笛合同合宿 ～1 1 おつとめまなび総会	4～8 学生生徒修養会大学の部 10～12 学生生徒修養会高校卒業生コース 21 学生層育成者講習会 27・28 春学(春の学生おどばがえり大会)
4	19 天理教婦人会第108回総会	2～4 おやさとふしん青年会 ひのきしん隊ワンポイント入隊		
5	31 委員部長後継者講習会	2～23 おやさとふしん青年会 ひのきしん隊1ヶ月隊入隊 (入隊期間中、日曜日に 笠岡初代の史跡研究)		24 親里管内学生のつどい
6	3 笠岡支部おどばがえり団参 28 こかん様に続く会	20 青年会おつとめ練習会 28 話所ひのきしん団参	21 縦の伝道講習会 21 てっちゃんシアター	
7		* 7月～10月 各ブロックおつとめ練習総会 * こどもおどばがえり期間中 お楽しみ行事	21 てっちゃんシアター 27 ～ 3 こどもおどばがえり 21～23 サマーキャンプ	
8				中旬 学生生徒修養会 高校の部 16 夏学(夏の学習指導)
9			21 てっちゃんシアター	
10		27 本部青年会総会		
11	1 第31回女子青年大会	22 御臨席総会リハーサル おつとめ練習会 23 青年会長様御臨席総会	21 てっちゃんシアター	8 秋学(秋の学生会の日)
12				中旬 高校受験勉強会
備 考	・毎月2日 ひまわり会 例会 1月・8月はなし ・毎月3日 婦人会 例会 1月・8月はなし ・毎月20日 女子青年 伏せ込みひのきしん	年間通して ・毎月21日 大教会祭典後神名流し ・毎月第1 or 第2日曜日 大教会伏せ込みひのきしん		

立教 1 8 9 年(令和 8 年/2026年)

部会 月	全 体 行 事 その他	ひのきしん	布 教 部	海 外 部
1	5~18 直轄教会春季大祭参拝 20 年頭会議	25・26 教祖140年祭詰所受入 27・28 教祖140年祭詰所片付け	20 教会長夫妻及び布教所長講習会 (年頭会議に引続き14時~)	
2	3~15 部内巡教			
3	3~15 部内巡教 27・28 修養科修了講習会(＊)	27・28 春学詰所受入	<div>祭典講話(案)</div> <div>1月 大 教 会 長 様 2月 世話人・板倉知幸先生 3月 ㊦学生層育成者講習会 4月 山 田 敏 教 5月 ㊦海外伝道講習会 6月 ㊦縦の伝道講習会 7月 田 中 隆 之 8月 田 林 久 嗣 9月 ㊦布教推進講習会 10月 大 教 会 長 様 11月 虫 明 立 生 12月 上 原 繁 道</div>	吉日 広島平和公園にをいがけ (外国語パンフレット配布)
4	29 全教一斉ひのきしんデー	18・19 教祖ご誕生祭詰所受入		5 アフリカ孤児支援バザー桜祭り
5	2 大教会長杯親睦ソフトボール大会 5~18 直轄教会定期巡教 28 雅楽講習会			21 海外伝道講習会
6	27・28 修養科修了講習会(＊)			
7	27 庭木剪定・草刈り 1~15 本部食堂(福山ブロック) こどもおぢばがえり詰所受入 前期:7/26昼~7/29昼 中期:7/29昼~8/1 昼 後期:8/1 昼~8/4 朝			
8	3 庭木剪定・草刈り			6 英語講習会
9	23 別席&おぢば伏せ込みDAY 27・28 修養科修了講習会(＊)	1~30 全教会布教推進月間 21 布教推進講習会 28~30 全教一斉にをいがけデー		
10	5~18 直轄教会秋季大祭参拝 28 雅楽講習会	3 客殿障子張り替え 25・26 秋季大祭詰所受入		
11				吉日 広島平和公園にをいがけ (外国語パンフレット配布)
12	6 若人の集い 20 心定め提出 27・28 修養科修了講習会(＊)	16~31 本部食堂(西ブロック) 22 年末大掃除 27 詰所餅搗		
備 考	◎役員部長会 毎月20日 午後 0:30 ◎直轄教会長連絡会 毎月20日 午後 2:00 ●雅楽会練習 毎月21日 午前8 時 (＊)修養科修了講習会の際は、育成掛の講話あり	註:ブロックの区分けは 東:岡山県以东の直轄教会とその部内教会 西:広島県以西の直轄教会とその部内教会 上府:上下、府中市 1月~10月、第1日曜日もしくは第2日曜日 管理部、青年会 合同伏せ込みひのきしん	・布教部・青年会共催 神名流し 毎月21日祭典後13:30~	◎英語クラブ (毎月22日19時~20時半)

十一月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原明勇 慎んで申し上げます

親神様には「月日にハセかいちうゝハみなわが子たすけたいとの心ばかりで」との親心溢れる御守護とお導きを頂戴して 日々は結構に恙なく暮らさせて頂いております事は誠に有難く勿体ない極みでございます 私共は朝夕に御礼申し上げると共に 届かぬながらもたすけ一条の御用の上に懸命に努め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日は「たすけのもとだて」とお教え下されたおつとめをつとめる定めの日柄でございますので、只今からおつとめ奉仕人一同、明るく陽気に勇んで座りづとめてをどりをつとめて十一月の月次祭を執り行わせて頂きます。御前には日頃の御高恩に改めて御礼申し上げたいと今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達が、相共にお歌を唱和する真実の状を御覧下さいまして、親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。

さて本日は台湾から黄登州先生にお越し頂き「海外伝道講習会」を開催させて頂きます 先生のお話をしっかりと胸に治め 世界いちれつたすけたいとの親の思いにお応えできるようにつとめさせて頂く所存でございます

また来月七日には二十代から四十代までの男女を対象に「若人のつどい」を開催致します。様々なコースのスキルを学び人の為に活かす事で、陽気ぐらしへの歩みを進めさせて頂きたいと存じます。

何卒親神様には 教祖にお喜び頂きたい一心でたすけ一条に邁進する皆の誠真実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上に尚も自由の御守護を賜り 喜びづくめの世の状に一日も早く立て替わりますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

立教百八十八年十一月月次祭		祭典役割表	
祭主	大教会長様	上原繁次	
扈者	上原浩 山野弘実	三代温生	田中隆之
指図方	田中隆之		
一月講話	大教会長様		
役割／区分	坐り勤	前半	後半
地方	門脇元教 横山逸郎 中村剛史 中村剛史 三代温生 谷内秀自	岡崎真一 中村道徳 温生 山田敏教 谷内伸自	田中隆之 谷内伸自 横山逸郎 虫明立生 門脇加津 中村初美 上原千枝子
おつとめてをどり	大教会長様 前会長様 上原繁道 大教会奥様 前奥様 田中ますみ	浅野明教 武内正美 室内悦子 山野なつ	上原千枝子
笛	上原繁次	上原浩	今川昌彦
ちゃんぽん	佐藤道孝	赤木素志	中村剛史
拍子木	吉岡壽	岡田誠	岡崎治喜
太鼓	上原志郎	高木昭祥	佐藤真孝
すりがね	中村剛	内海史郎	門脇元教
小鼓	虫明立生	吉岡誠一郎	杉原善朗
琴	上原順子	岡崎豊子	内海安子
三味線	田中つかさ	横山小智榮	吉岡八恵
胡弓	谷内美知子	三島照美	高木孝子

大教会だより

〓 辞 令 〓

立教188年11月21日付

＊青年会

委 員

森 本 伸 平

森 本 一 平

丸 山 智 旬

丸 山 周 太

◎教人資格講習会修了者

立教188年12月10日終講

金 浦 樋 上 郁 子

試案 天理教笠岡大教会史

昭和四十八年(立教百三十六年・1973年)

教祖九十年祭三年千日第一年目

一月二十六日 本部春季大祭に真柱様から諭達第二号発布

諭達第二号

教祖九十年祭を迎えるに当たり、思うところを述べて、三年千日の門出の心定めに資したい。

◎本部食堂ひのきしん

自 立教188年11月16日

至 立教188年11月30日

府中市 奥 忠 郎



く何から伝えればいいのか分からな
いまま時が過ぎて行く

年を越せばもう教祖140年祭という大
締め括りのかさおか誌の紙面にて、年
祭活動中「よりみち」ばかりしていた
私は投稿できるほど成果とか苦労とか

の話が全く無いので往生しています。

この紙面を読んでいる方の中にも年
祭活動頑張った達成感よりも他の感情
でいる方も多いのかと存じます。何は
ともあれ今こうしていられることへの
感謝も、思うように行かなかった方へ
のお労いもお互いにしたいものです。

もやもやしているのは、もしこの道
にここまでたどり着いたらそれでOK
という大きなゴールがあつたとした
ら、最短で行く正解を探そうとするで
しょうね。ただこの道にそういうゴー
ルなど永遠に無く、一日一日の積み重
ね、毎日の営みを繰り返しながら目標
へ向かい、必ず途中で終わりが来る。

そんなイメージをことばにしていま
す。ポジティブかネガティブかはさて
おき実際そうなんだろうなと思いま
す。

また目標に向かって正解を探そうと
すると必ず間違いが見つかるように失
敗や挫折やそれに伴う諦めた落ちの部
分もまた、次の一步へ向かう導きでも
あります。教祖のひながたも人間が思
うサクセスストーリーとは真逆で落ち
ていく落ち切っていく中に神意がある
のですから、

今、思うようにいってなくて勇めて
いない人？ そこが次のステップに生
きる道です。きっと。 (ほ)

教祖は、月日のやしろとして親神の思召を伝え、たすけ一条のため、み
ずから艱難苦労の中を喜び勇んで通り抜け、萬人たすかるひながたを示
された。しかも、子供の成人を急ぎ込む上から、定命を二十五年縮めて
現身をかくされ、今なお存命のまま、日夜、世界たすけのために働き
下されている。この親心に応え、喜びに溢れてひながたを實踐し、たす
け一条に励んで成人の実を挙げ、教祖にお喜びいただくことこそ、年祭
を迎える道の子供の願いである。

教祖は、たすけ一条の道として、つとめを教えられた。
にちにちにはやくつとめをせきこめよ
いかなるなんもみなのがれるで(二〇 19)
とのよふなむつかしくなるやまいでも

つとめ一ぢよてみなたすかるで(二〇 20)

つとめは、人間世界創造の奇しき守護を、よろづたすけの上にお見せいただく、根本の道である。教祖五十年の道すがらは、このつとめの急き込みにほかならない。教祖年祭のもと一日もまた、ここに由来する。仰せ通りのつとめをするという一事に、幾多の苦心が払われて来た道の歴史に照らす時、有り難い今日の道である。感謝の真心を捧げつつ、一手一つ、つとめに徹する姿を以て、親心に応え奉らねばならない。

思えば、教会の初まりは、つとめ一条の実現を心に定めて、許されたものである。ぢばの理をうけて、真剣なつとめに、勇み心の真実を捧げ、陽気世界実現の守護を祈念するのが、教会の使命である。かくてこそ、たすけの理をいただいて名称の理は発揚され、教会内容はおのずと充実してくる。心定めを果たすという一点に心を尽くし、仕切つてその達成を志すのが時旬の急務である。鳴物なりと出しかけよ、とのお言葉を拝し、道具の完備を急いできたが、人を寄せ手を揃えることは、つとめ完成に欠くことのできぬ要であり、教祖の終始心をおかけ下されたところである。教祖は、さづけを渡しよふぼくを育てて、人々の成人を促しつつ、つとめの模様立てを進められた。

これからはいたみなやみもてきものも

いきてをどりてみなたすけるで(六 106)

さづけの理は、今広く我々にも許されている。しかも、親神は、常に先廻りしてお待ち下されている。ひたすら、親に凭れて足を運び、真心こめて理を取り次ぐ時、不思議なたすけをお見せ下される。まことに心強いかがりである。よふぼくたるものは、このことを心に刻み、挙つてさづけの取り次ぎに勇み、おかけいただく大いなる期待に応え奉らんことを切望する。さづけを取り次ぎ、たすけ一条に励む時、心のほこりはおのずから払われて、陽気づくめの心と入れ替わり、人の心は成人する。成人は、理の御用を通してこそ、果たされる。

成人とは、日々年々、親の思いに近づくことである。それは、不断の着

実な歩みの中から、旬に芽生え実を結ぶ。教祖の年祭を旬として、心のふしんを形のふしんに託し、仕切つて成人を願つて来たのも、この故にほかならない。おやさとしんは、教祖の御理想を体して、誓つて勇躍した心のふしんであり、父祖の信仰と切なる願いがこめられている。これを継承して、倍する努力を続けることが、心の成人をお見せいただく道であり、ひいては、その真実は、縦の伝道の実をも招来する。みかぐらうたに、

九ツ ここまでついてこい

十下 とりめがさだまりた(二下り目)

と教えられる。とりめが定まるとは、まさに、末代続く陽気ぐらしの世である。その守護は、ここまでついてこい、と手引かれる親神の導きに、心を定めてついて行く時いただける。成つて来る理に耳をすまし、教祖の面影を求めて身近に教祖を拝し、三年千日、ひながたの道を明るく歩み抜かせていただきたい。

世界は、我が身思案に流れて扶け合う喜びを忘れ、苦悩と混乱にあえいでいる。一日早く親神の慈愛に導かれたお互いは、その喜びを深く味わい、一手一つの和を以て、はたはたを樂させる、働くことの真意を世に映したい。すすんでよふぼくは、たすけ一条の実践を以て、たすける理がたすかる、天の理を人々に伝え、

せかいどういちれつわみなきよたいや

たにんとゆうわさらないぞや(二三 43)

とのお言葉通り、世界の兄弟が互いに睦み合う、陽気ぐらしの世の様子をお見せいただけるよう、年祭活動の第一歩を踏み出すに当たり、決意を新たにするものである。

ここに信念を披瀝して、全教の奮起を促し、親神の守護、教祖の導きを願ひ奉る。

昭和四十八年一月二十六日

真柱 中山善衛

一月二十六日	木津和分教会二代会長丸山確一任命(初代会長丸山吉郎辞任)	五月六日	少年会笠岡団、少年大会開催(七〇〇人)
就任奉告祭…二月一日		五月二十六日	玉柏分教会三代会長岡本歳子任命(二代会長岡本章雄 昭和四十八年二月二日出直)
一月二十六日	木津和分教会恒例祭日変更(毎月二日―六日)	就任奉告祭…七月一日	
二月七日	三代会長・上原繁雄 第一回天理教梅華会団長として訪台(第十回まで参加)	五月二十六日	福東分教会二代会長藤井宣人任命(初代会長藤井綱市辞任)
二月二十日	本部員・平野知一先生を講師に本部諭達巡教(四八〇余人)	就任奉告祭…六月十日	
二月二十六日	錦備分教会三代会長室喜久子任命(二代会長徳永ツル辞任)	五月二十六日	作備分教会二代会長三宅タケノ任命(初代会長植田五郎辞任)
就任奉告祭…三月四日		五月二十六日	作備分教会を教会本部から笠岡大教会に所属変更
二月二十六日	福備分教会五代会長藤井マス子任命(四代会会長原田精治郎 昭和四十七年十一月六日出直)	五月二十六日	作備分教会移転
就任奉告祭…四月一日		旧所在地…岡山市南方一丁目二十三番地	
三月二十六日	吸江分教会建築模様替	新所在地…岡山県笠岡市笠岡五千七十七番地	
三月二十七日―三十日	春季英語講習会(二一〇人)	鎮座祭…七月四日	
四月二十四日	一日修養会全講師大会開催	奉告祭…七月五日	
四月二十六日	樺島分教会三代会長岩崎吉男任命(二代会長成田繁雄辞任)	五月二十六日	作備分教会恒例祭日変更(毎月二十日―六日)
四月二十六日	樺島分教会移転	七月二十一日	杉原博之、大教会青年に任命
旧所在地…北海道枝幸郡浜頓別町頓別六百十七番地		七月二十六日	こどもおぢばがえり第一団出発(直轄・玉島・久松 二十八日まで)
新所在地…北海道苫小牧市矢代町一丁目一番八号		七月二十六日	坪生分教会神殿建築
鎮座祭…六月七日		鎮座祭…十二月二日	
奉告祭…六月八日		奉告祭…十二月三日	
四月二十六日	樺島分教会恒例祭日変更(毎月八日―三日)	七月二十六日	伯仙分教会恒例祭日臨時変更
四月二十六日	筑前鐘崎分教会移転	昭和四十八年八月に限り十日を六日に変更	
旧所在地…福岡県宗像郡玄海町大字鐘崎六百三十番地		七月二十六日	米美分教会恒例祭日臨時変更
新所在地…福岡県北九州市八幡区大字香月二千三百十七番地		昭和四十八年八月に限り十日を二日に変更	
鎮座祭…五月四日		七月二十九日	こどもおぢばがえり第二団出発(福山・高屋・神邊 三十一日まで)
奉告祭…五月五日		八月三日	第十一回夏季英語講習会開催(百三十人 七日まで)
四月二十六日	筑前鐘崎分教会恒例祭日変更(毎月二日―七日)	八月二十六日	六甲分教会神床位置変更
四月二十六日	筑前鐘崎分教会を香都城分教会と改称		

八月二十六日 帆城分教会移転

旧所在地…大阪市阿倍野区文の里四丁目十九ノ二十二番地

新所在地…大阪府堺市晴美台一丁目十一番の六

鎮座祭…十月二十八日

奉告祭…十月二十九日

九月二日 全教で青年一日修養会開催

九月二十六日 新山邑分教会三代会長三島

克己任命(二代会長三島富代辞任)

十月二十日 大教会承事・陽備分教会三代会

長虫明金一出直(七十八歳)

十月二十六日 笠岡詰所増築

十一月二十六日 皆部分教会遷座祭日(十二

月十一日)

鎮座祭…昭和四十九年十月二十八日

奉告祭…昭和四十九年十月二十九日

十二月一日 三代会長夫人・上原くにゑ 本

部御用方室御供所掛勤務

十二月九日 女子青年大会挙行(三〇〇人)

この年は、一月諭達が発布され、教祖九十年祭へ向けてのよふぼく信者の心構えを明示された。更に二月に入って、諭達本部巡教があり、笠岡では本部員・平野知一先生を迎えての講習会となった。いよいよ九十年祭へ向けての三年千日の歩みが始まったのである。又、梅華会による中華民国親善訪問が始まり、大教会三代会長・上原繁雄は戦時中、台湾伝道庁長を勤めた事もあつて

いざ、ひのきしん

AM 9:00

2026 1.11 日

開幕

大教会伏せ込みひのきしん

毎月第1or第2日曜日開催!
於笠岡大教会

梅華会団長として出席し、以後十回にわたり中華民国を訪問した。

この年の大教会年間統計 初席者七百八十人 おさづけの理拝戴者五百二十九人 修養か修了者百九十三人 教人登録百九十二人 教人総数一千九百八十六人 よふぼく総数九千三十三人。全教よふぼく総数六十八万一千四百三十八人。